

評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 21 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0572609188号
法人名	ユウケンガイシャ 株式会社 峰の山
事業所名	グループホームみずこしの里
所在地	大仙市土川字上雨堤135番地1 (電話) 0187-87-3177
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成20年10月17日

【情報提供票より】 (平成20年9月1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 1 月 10 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	11 人 (常勤 11 人 非常勤 常勤換算 11 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,050 円			

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名
要介護3	0 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82 歳	最低 61 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤本医院、富塚歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

自然豊かな場所にあり、敷地が広いので畑でトマトや枝豆、白菜や大根など多くの野菜づくりに精を出すなど利用者の表情も明るく生き生きとしている。
 建物は縫製工場を活用したもので、自然体でゆったりした空間と日当たりの良い環境のもと、家庭的な雰囲気の中で一人ひとりの役割や機能を生かした生活を支援している。
 また、地域との関りが深く、地域の産業祭に日ごろ制作している作品を展示したり、消防署や住民の協力を得ながら避難訓練を実施するなど、地域と一体となって交流促進に努めている。
 さらには、圏域のグループホーム連絡協議会に加入するなど職員の資質向上とサービス向上に意欲的であり、今後の工夫した取り組みに期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	展示物の画鋸の安全性や夜間の刃物、居室内のカミソリ等の管理については、画鋸の落下防止策や刃物等の保管方法を見直し、全職員で話し合いながら改善につなげている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)
	すべての職員で自己評価の意義を確認し、前回の評価結果を基にして改善や見直しについて話し合っている。 今後は、職員一人ひとりが評価したうえ、事業所として一つにまとめるなど職員全体での取組みに期待したい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4, 5, 6)
	利用者及び家族、包括支援センターや町内会長、民生委員などが参画し、意見・助言を得ながら地域との交流促進を図るなど、運営推進会議を有効に活用してサービス向上につなげている。 また、週1回は地域包括支援センターに出向き、施設の空き状況など情報交換しているが、今後は行政担当者とも日ごろから連携・協力を得られるよう働きかけていくことを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族には毎月「みずこしの里」だよりを送付し、日ごろの様子が分かるよう行事の写真などを送付して情報提供に努めている。 また、面会時には積極的に家族と話し合い意向を確認し、玄関には意見箱を設置して意見等を出しやすい環境づくりに努めており、できる限り運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	近隣からの野菜の差し入れや老人クラブからの依頼で介護保険について説明しているほか、学校行事への招待や小学生、幼稚園等の慰問、地域の産業祭への作品展示依頼など、地域との交流を図っている。 また、避難訓練への積極的な住民参加や意見を得るなど、地域からの理解と協力のもと連携体制ができています。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症省によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境の基で食事、入浴、排泄等の日常生活の支援、援助、介護の提供、及び日常生活での心の機能訓練、機能維持に努め安心と尊厳のある生活を利用者がその有する能力に応じた可能な限り自立して営める様、適切な支援、援助介護を目的としております。		左記及び、ホームで過ごしながら地域の一員として生活できる様支援しております。		「認知症があっても家庭的な環境の基で個人の能力を生かし、役割を持ちながら機能を維持し、地域の一員として生活することを支援する」を事業所独自の理念・方針として掲げている。	
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設職員としての特殊性を深く理解し、専門技術、知識を高める為、常に研鑽を積みスタッフの質の向上に努めております		月1回実施致しております、全体会議等において、全職員が理念を共有できる様にしております。		代表者及びすべての職員が参加する月1回の会議のほか、毎日の朝・夕の申し送り時にも利用者への支援状況を理念に照らし合わせて確認している。	
	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	契約書において第3条（サービスの内容）について説明しホーム内の地域の交流など紹介し地域の方々には 隣家、地域、自治会長、民生委員の方を通じ、理解して頂ける様取り組んでおります。		ホームで過ごしながらも地域の一員として地域行事、ボランティアの積極的受け入れと参加に取り組んでおります。			
2. 地域との支えあい								
	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の行事、地域の小学生の交流、ボランティアの受け入れ等、積極的に行っている。		定期的、ボランティアの受け入れ、防火訓練への地域住民の参加、ホーム内行事への地域住民の受け入れ等実施している。			
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事、地域の小学生の交流、ボランティアの受け入れ等、積極的に行っている。		上記の他、運営推進会議への自治会長、民生委員の参加を依頼し、参加頂いている。		近隣からの野菜の差し入れや老人クラブから依頼されての介護保険の説明、小学生の慰問など地域からも理解されている。 また、事業所の行事や民謡の慰問などには近隣の方も招待するなど、地域との関係づくりに努めている。	
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組みをしていない。	○				
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	取り組んでいる。		月1回の全体会議において職員の周知徹底への取り組みを行っている。		前回の評価結果から掲示物の画紙や包丁、カミソリなど危険な物品の取り扱いを見直し、全職員で話し合いながら改善につなげているほか、自己評価の内容も全体会議で確認している。	○ 自己評価の実施にあたり、職員一人ひとりが評価のうえ事業所で一つにまとめるなど、職員全体での取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス向上に努め活かしている。		運営推進会議での出席者からの意見を真摯に受け止め、サービスの向上に向け取り組んでいる。		利用者及び家族、地域包括支援センター、町内会長、民生委員などで構成し、町内会長が欠席時は副会長が代理出席するなど、積極的に参画している。 また、意見を基に地域との交流促進を図るなど、会議を有効に活用してサービスの質の向上につなげている。	

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	取り組んでいる。		週1回は市、包括支援センターに出向き、情報の収集に努めている。	週1回は地域包括支援センターに出向き、施設の空き状況など情報交換を行い、電話でも連携する機会を持ちながらサービスの向上に努めている。	○	地域包括支援センターだけでなく、行政担当者にも定期的に状況を報告するなど、日ごろから連携・協力を得られるよう働きかけていくことを期待したい。
	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	支援している。		現在、入居後、成年後見制度を利用している方がいる。			
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止に努めている。		虐待についての研修への参加や、虐待防止のファイルを作成し、職員へ絶対あってはならない事への周知徹底を図っている。			
4. 理念を実践するための体制								
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者家族への説明を行っております。		利用者家族とも十分な時間を持ちながら。契約の説明と質問を受け対応している。			
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見を受けながらサービスの提供をしている。		ホーム内に意見箱の設置や、利用者が気兼ねなく意見や思いを発言出来る雰囲気づくりに取り組んでいる、又ケアプラン作成時にも反映させている。			
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	報告しております。		月1回のみずこしの里だよりとおこずかいの支払い明細を家族へ送付しております。又、随時においても、利用者において変動があった場合、電話連絡を行っております。	家族には毎月「みずこしの里」だよりを送付しているほか、日常生活や行事の写真なども送付して情報提供に努めている。 また、面会時には積極的に会話の機会を持ち、体調変化により受診した場合の受診結果や金銭管理の支払明細書も毎月報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	反映させております。		契約時、苦情受け付けの機関がある事やホーム内への意見箱の設置、又家族の面会時の会話等から意見を聞けるよう努めております。	家族には運営推進会議に出席してもらい、面会時には積極的に話しかけており、口頭での要望が出されている。 また、玄関に意見箱を設置して意見や苦情を述べやすいよう配慮し、意見等があれば運営に反映できるよう努めている。		
	16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	反映させております。		月1回の全体会議では、職員の発言、提案する時間をもうけ、意見交換しながらホームの運営に反映させております。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	努めております。		地域行事、ホーム内行事等に必要な人員が確保、出来る様職員にも協力を求め対応してもらっております。			
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	配慮に努めております。		現在の所、職員の異動はなく安定しており、利用者にとってもなじみの職員であり、安定していると思います。	○	職員の移動は殆どないため、馴染みの関係を築き、安定した環境で過ごすことができている。	今後の職員の異動を想定し、利用者への影響を最小限に抑えるための対応を検討してほしい。
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	努めております。		各種研修への受講を勧め、又個人での各種資格取得への助成を行っております	○	研修計画は作成してないが、職員一人ひとりの経験や職種、レベルに合わせて資格取得の研修参加を勧めたり、各種外部研修への参加を促しており、参加や資格取得にかかる経費も負担している。 また、研修後には伝達を行い、全職員のレベルアップにつながるよう研修成果の共有に努めている。	職員一人ひとりの目標や課題などを踏まえた研修計画を作成し、計画的な職員育成の仕組みづくりが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	取り組みに努めております。		グループホーム連絡協議会への参加と交流会の場での意見交換を通してサービスの向上に努めております。		大仙市グループホーム連絡協議会に加入しており、3か月に一度の研修会には職員が交代で参加し、他事業所職員との交流や互いのレベルアップにつなげている。	
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	取り組んでおります。		シフト表作成時希望を取ったり、懇親会を設けたりしております。			
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努めております。		各職員の努力を認め、個々の良い所を伸ばして利用者にはサービスの提供が出来る様配慮しております。			
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	努力をしております。		相談があった場合には、各種の介護保険サービスがある事や、現在利用者、家族が困っている事に相談に応じる事の出来る様に努めております。			
	24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	努力をしております。		利用者家族の相談に応じ、ホームで提供できるサービスについての説明等を行い、ケアプランを作成し、援助させて頂いていることを説明しております。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めております。		相談があった場合には、各種の介護保険サービスがある事や、現在利用者、家族が困っている事に相談に応じる事の出来る様に努めております。			
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	工夫に努めております。		ホーム利用までの軽い経緯の把握や、現在本人、家族の望むサービスの提供の為に利用者本人の把握に努め、その上でケアプランを作成し家族の同意を得る様努めております。	○	利用希望があれば見学してもらい、ケアマネからの情報収集や本人及び家族とも話し合い、本人が納得して安心した利用につながるよう努めている。	他の利用者への影響も考えると難しいかもしれないが、見学だけでなく一日体験するなどして職員や利用者、居住環境などに少しでも馴染めるよう工夫が望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	築いて、支え合う関係ができています。		ホーム内での共同作業や、利用者本人のできることを尊重し又食事を一緒にテーブルで取ることにより、信頼関係が築ける様に努めております。		漬け物や畑のつくり方などを教わり、調理や盛り付けを一緒に行っているほか、自ら洗濯できる方にはその環境を整えるなど、互いに支え合う関係づくりに努めている。	
	28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	築いていける様努めております。		利用者の様子を電話連絡したり、本人が家族へ電話したり又は、ホーム側から面会要請致しております。			
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	支援に努めております。		ホーム利用前の家族関係の把握や、面会状況により、面会があった場合には利用者の現況を伝えるなど、利用者との家族関係が疎遠にならないよう努めております			
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	支援に努めております。		生家、本家、お墓、などのふるさと巡りのドライブの援助をさせて頂いております。			
	31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	努めております。		利用者のペースに合わせ、ホーム内での共同作業や、休暇、余暇活動に参加して頂いている。			
	32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	努めております。		契約終了時において、今後利用できる介護保険サービスや、居宅サービス機関の紹介などを行っております。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	把握に努めております。		ホーム内の居室内利用は各個人の意向に合わせ利用頂き、私物の持ち込みの制限もなく、又利用者が個室を利用者本人の空間ととらえて頂き、利用しやすい様、援助させて頂いております。	利用者の思いやペースに合わせて手芸や貼り絵、踊りなどを行い、食事や入浴、散歩なども意向に沿って支援している。 また、入室の際は利用者の意向を確認しており、利用者の行動やそれぞれの人間関係も把握しながら支援するよう心がけている。		
	34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めております。		初回面接時や入居後においてもコミュニケーションを図り、ケアプラン等に反映させて頂いております。			
	35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	努めております。		各個人のペースに合わせ、本人の負担にならない様な援助に心掛けております。			
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	作成に努めております。		カンファレンス、モニタリングを実施し、又面会時には家族の意向を反映させたケアプランの作成に努めております。	カンファレンスを行いながら3か月または6か月ごとに介護計画を作成し、面会時には利用者及び家族とも話し合い、電話などでも意向を確認して計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	作成に努めております。		利用者の状況の変化に応じ、カンファレンスを行い、又家族へも状況報告しケアプランを作成しております。	体調の変化や身体機能レベルに変化がみられる時は、カンファレンスを行い計画作成担当者や家族とも話し合いながら見直しており、急変時にも随時変更している。		
	38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	活用しております		個別のファイル記録があり、日々の様子を記録し、各職員が情報を共有できる様にしております。			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	支援に努めております。		本人や家族からの要望に対しては出来る限り、ホーム側として出来ることについては対応しております。	体調不良時の受診や口腔ケア、定期受診の支援など、かかりつけ医や協力医との連携もあり、家族とも連絡をとりながら支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
	40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	支援に努めております。		ボランティアの受け入れの実施、防災訓練への消防署への依頼、かかりつけ医との連携、民生委員の運営推進会議への依頼等を通じ利用者への援助に努めております。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	支援に努めております。		地域の居宅支援事業所への訪問、電話連絡等により情報の収集を行っております。			
	42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働に努めております。		定期的又は随時において、包括支援センターを訪問し、情報の収集に努めております。			
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	支援しております。		かかりつけ医院への受診、かかりつけ歯科受付を定期的本人の希望、又は 調不良時には受診の援助を行っております。		定期のほか体調不良時にも受診しており、体調変化が一目で把握できるよう個人ファイルを活用し、事業所独自の受診記録等により医師に詳細な情報を伝え、家族への連絡を密にしている。 また、服薬に関しては薬の説明書や副作用などを個人ファイル化し、職員全員で把握に努めている。	
	44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	支援しております。		かかりつけ医師への状況報告を通じ、認知症専門機関への紹介状により受診の援助を行っております。			
	45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	支援しております。		かかりつけ医への受診を通じアドバイスを頂きながら、利用者への健康増進に配慮致しております。			
	46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携に努めております。		入院時には入院先の医療ワーカーを通じ又は家族からの入院の状況情報を頂きながら、退院日程等の調整をしつつ連携に努めております。			
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	共有に努めております。		かかりつけ医受診時には、医師からの意見や家族の意向を確認しつつホーム側としての対応について職員とも意見交換し職員全員が同一方針の共有に努めております。		入居の段階で事業所の説明を行い、重度化した場合は他事業所等の利用を勧めている。 なお、現在は重度の方はいないが、今後の対応を検討していく予定である。	○ 今後の利用者の重度化を想定し、事業所としての方針を定め、職員で共有していくことが望まれる。
	48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	行っております。		職員間の意見交換やかかりつけ医師からの意見を聞きながら、利用者の体調の変動に配慮した援助に取り組んでおります。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	努めております。		他の移動に際しては移動先から要望があればホーム内の生活状況、身体状況をまとめた様式を準備し、提供しております、又移動後も先からの電話連絡等により対応しております。			
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
1. その人らしい暮らしの支援								
(1) 一人ひとりの尊重								
	20	50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	致しておりません		利用者への声かけに際しては丁寧な言葉使いとプライバシーに配慮した声かけの場につけております、又個人ファイルは事務所保管とし、他の利用者の目のふれない様に配慮しております。			利用者への声かけは馴染みのある秋田弁で、家族に呼ばれている名前呼びかけるなど暖かみのある対応を心がけている。 また、入浴時には同性介護で対応しており、記録等個人情報の取り扱いも事務所での保管を徹底している。
	51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	支援しております。		利用者の希望、要望と耳を傾け軽作業、レクリエーション参加等についても声掛けにより本人の意思を尊重した援助をさせていただいております。			
	21	52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	支援しております。		この利用者の生活ペースを把握することにより、本人のペースに合わせて、又無理することの無い様に日々、努め援助をしております。			手芸や演歌を聞いたり、手紙を書くなど自分のペースで自由に過ごしており、買い物や畑仕事の希望にも柔軟に対応している。 また、食事や入浴時間も利用者の希望に沿い、利用者同士でも気配りする関係ができています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援								
	53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	努めております。		本人の希望により、理容店、理髪店へのつきそい送迎を実施しております。			
	22	54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	実施しております。		食事の準備に際しては、職員、利用者と共に、あとかたづけについても本人の出来る範囲内で行って頂ける様、援助しております。			食事の下ごしらえや味付け、盛りつけ、茶碗拭きなど利用者の能力を生かして職員とともに行い、以前料理関係に携わっていた方もおり、男性職員が教えてもらうなど楽しみにしている。 また、食事中は職員も利用者と同じものを食べ、会話を提供しながら楽しい雰囲気づくりに努めている。
	55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	支援しております。		おやつ等、利用者の希望を取り入れたり季節の物を提供致しております。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	支援しております。		排泄パターンの把握と、誘導を実施し失禁時には、他の利用者に気づかれ無い様な汚れた衣類の交換、見守りを援助しております。			
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	支援しております。		基本的には、午後からの入浴時間ですが、本人の希望があれば、午前入浴、シャワーの利用が可能な体制を取っております。		毎日の入浴を可能にしているが、利用者の希望を尊重しながら最低でも週2回は入浴してもらうよう声かけしており、午前中や夕食後の入浴希望にも対応している。	
	58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	支援しております。		各個人の利用者の生活パターンに合わせ、休息、余暇活動が出来る様、援助しております。			
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	支援しております。		各個人の利用者の希望に応じ、食事の準備への参加、手芸制作への取り組み等、本人の希望する事の出来る様な援助を実施しております。		利用者一人ひとりの希望や能力に合わせて手芸や掃除、調理、洗濯など役割を担っている。また、畑仕事や草取りなどができない方は口を出し、車イスの方でもできる範囲で草取りするなど、張り合いのある生活を送れるよう支援している。	
	60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	支援しております。		個人の現金所持を禁止しておらず、外出時には自由に使用出来る様、援助致しております。			
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	支援しております。		戸外への散歩の同行や、ドライブ等の援助を実施しております。		散歩やドライブ、買い物、外食などのほか、敷地内での昼食（流しそうめん）を工夫したり、家族との外食などにより戸外に出かける機会を日常的に支援している。	○ 今後は、利用者の家族を誘っての外出など、共に楽しめるよう外出を工夫してほしい。
	62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	支援しております。		家族と利用者が外出する機会を設ける様支援したり、ホームでも春、秋の行事として遠距離外出を設けております。			
	63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援しております。		利用者からの電話かけ援助、手紙については投函の援助をしております。			
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	工夫しております。		特に体調不良者を方の面会（感染予防の為）以外には面会者の制限、時間は設けておらず、気軽に面会出来る様、援助しております。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援								
	65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでおります。		身体拘束については、職員一同、正しく理解しており、身体拘束のしないケアに取り組んでおります			
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	努めております。		各利用者の個室に鍵は無く、又夜間以外、玄関に鍵をかける事はなく、利用者が自由にホーム内外を行き来、出来る様援助しております。		夜間は安全のため施錠しているが、玄関及び居室にはカギを掛けておらず、ホールも窓を開けて風通しがよく、職員の見守りや付き添いなどにより自由な行動を支援している。	
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	配慮しております。		日中は、利用者の所在を把握し、夜間においても、巡視により、又は排泄の為、個室から出てくる等の確認により様子を把握し、安全には配慮しております。			
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	取り組みをしております。		各個人の所有物を			
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	取り組んでおります。		各利用者個人の身体状況、精神状態を把握する事により、職員の見守り、声かけ等を実施し、特に火の取り扱いには注意を払っております。			
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	行っています。		全職員が救急救命の講習を受講し、急変時の連絡体制を取っております。			
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	実施できております。		避難訓練には地域住民の方にも参加頂き、利用者の避難の手助けの訓練とオイルパンによる火災消火器の消火訓練にも参加頂いております。		年2回、消防署や地域住民の参加を得て避難訓練を実施しており、マニュアルや手順、緊急連絡網も整備している。 また、11月初めには女性消防団や近隣住民の協力を得て夜間の避難訓練も予定している。	
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	話会っております。		入居時や、その後の状況について、家族の来所時には現状を報告し、既往歴や、かかりつけ医の意見を参考にしながら、今後の対応について相談し、対応しております。			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	実施しております。		毎日のバイタルチェックの実施や、観察により早期の体調不良に発見に努め体調不良時には速やかにかかりつけ医への電話連絡と受診の援助、救急を要する場合は救急車の要請を行っています。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めております。		かかりつけ医からの説明や、かかりつけ薬局の活用により、服薬中の薬について確実に服用出来る様、管理、援助を行っております。			
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	取り組んでおります。		排便チェックを実施し、排便周期の把握と、医師より処方になっている便秘薬の正しく活用することにより、便秘の予防に努めています、又食事には繊維質の多い食材を取り入れる工夫をしております。			
	76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	実施しております。		入居後かかりつけ医を受診し、個々の口腔ケアについての指導を受け実施しております。			
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	実施しております。		個々の利用者の摂取状況に応じた食事内容の提供や食事摂取量の記録表の活用、水分摂取量を記録する事により1日の摂取量の把握に努めております。	○	栄養士はいないが、かかりつけ医の助言を得ながら食べやすい物を食べやすく提供することを心がけ、食べ残しの状況をみながら利用者の意向と嗜好を把握し、補食に努めている。	行政の保健師など専門家からチェックしてもらい、定期的に利用者の栄養バランスなどを確認することが望まれる。
	78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	実施しております。		感染予防マニュアルの作成や、ホーム内の消毒の実施、インフルエンザ、ノロウイルスの流行期の面会制限を玄関にかかげ、面会者には手洗いの実施を行って頂いている。			
	79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	努めております。		調理用具、冷蔵庫の消毒を行い、常に安全な状態において食事が提供出来る環境作りを行っています。			
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1) 居心地のよい環境づくり								
	80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	工夫をしております。		玄関先には花を植えたり、スロープを設け、駐車場も広く、利用者が散歩しやすい様、又好天時には玄関戸を開放し、出入りしやすい様に工夫しております。			
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫をしております。		ホーム内の廊下は広く、又ほりコタツの和室、他目的ホールもあり、広い共用空間となっております、ホーム脇には畑を作っており四季が感じられる様にもなっております。		3か所の共有空間に分かれており、掘りごたつのある広い和室には車イスでも出入りできるつくりで、食堂兼リビングのほかに広い廊下の中央にテーブルを置き、思い思いの場所で過ごせる空間となっている。 また、居室で過ごす方が少なく、敷地内には畑もあるため、季節を感じながら過ごしている。	

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	工夫をしております。		廊下中央にはテーブル、椅子を設置し、和室、食堂を利用者が自由に利用できる空間作りを工夫しています。			
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫をしております。		個室への私物の持込に制限は無く、各個人が自由に利用できる様にしてあります。		居室に畳を敷いたり、ベットから使い慣れた布団に変える方もおり、一人ひとりの好みに応じてレイアウトも自由に変えている。 また、それぞれ馴染みの小物を持ち込むなど、居心地良く過ごしやすい空間づくりを支援している。	
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	行っております。		廊下、食堂に温湿度計を設置し午前、午後に数値を記入、又居室の清掃時には、随時換気し冬季には加湿器を用いるなど温湿度調整も行っています。			
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	工夫をしております。		廊下にははたすりを設置し、トイレ1箇所には両手のすり、広いスペースを設け、車イスの方でも自力で利用できる様にしています。			
	86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	工夫をしております。		職員との食事作りや、畑へのアドバイスなど入居者の能力を生かした生活を送れる様にしています。			
	87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	活用をしております。		当施設、敷地面積900坪の為、屋外も広く自由に散策出来る様になっております。			

※ は、重点項目。

項 目		自己評価	
		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
V. サービスの成果に関する項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気の中で安心と信頼が生まれる様「住み慣れたくつろげる家庭のような環境」と「ストレスを避ける環境」を心がけています、個室でのきままさと共同生活の楽しさ、そして心豊かに過ごせる生活空間を提供いたしております、又今まで暮らしていた生活環境の中にある「いつまでも自分の意思で暮らしたい」を実感していただけることを目標に支援、援助、介護の提供を致しております。

- ・広々としたゆとりある環境
- ・個性を尊重した援助で残存能力を最大限に活用
- ・生活に対応した必要な介護→生きがいをもち自分らしく生きる事の喜びを運営方針、目標としてスタッフ一同、日々頑張っております。